

実施団体	BokuMoku
事業名	BokuMoku Project
事業目的、内容	<p>県内で生産される原木の50%以上がスギノアカネトラカミキリによる食痕材(あかね材)で、今後も増加すると言われており、強度的には健全材と同等であるにも拘らず、見た目の悪さから利用及び材価の低迷が続き、森林の整備が進まない状況にある。</p> <p>このため、県民を対象に森林の現状の説明とあかね材の普及を図ることを目的にBokuMoku Projectを実施した。「BokuMoku」とは、「素朴な木」という意味で、本プロジェクトは、ありのままの木材の良さを生かした地域のものづくりを目指し、材の魅力を伝え広める普及活動である。本年は、啓発パンフレットの作成と配布、あかね材を活用した木工ワークショップ及び勉強会を開催した。</p> <p>・参加人数 101名</p>

